

株主のみなさまへ

第74期 株主通信

2023年6月1日 ▶ 2024年5月31日

CONTENTS

- P.1 ごあいさつ
- P.2 トップインタビュー
- P.5 セグメント概況
- P.6 トピックス
- P.7 特集
- P.9 連結財務データ
- P.10 会社情報／株式情報



代表取締役社長執行役員

金森 武

ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、「食」「豊かさ」の本質を追究し、お客様、社員の幸福、豊かな社会の実現に貢献するという経営理念のもと、業務用食品等の卸売を行う「外商事業」、小売を行う「アミカ事業」、水産品の卸売を行う「水産品事業」の3つの事業を展開しています。

2024年4月には、本社移転を行いました。新社屋では生産性向上や業務効率化を目的にフリーアドレスを導入するなど、働きやすい環境づくりを進めています。

今後も皆様のご期待にお応えできるように、さらなる業容の拡大と企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年8月

トップインタビュー

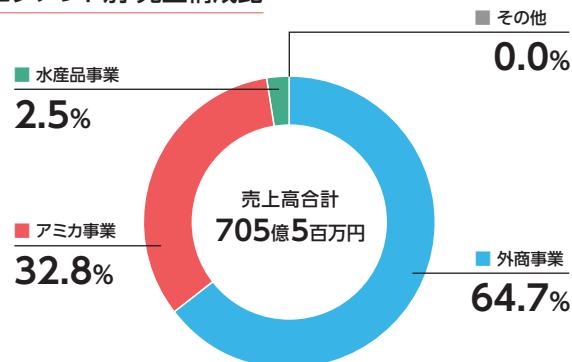
Q 当期(第74期)の業績はいかがでしたか。

A 売上高・各利益ともに過去最高数値を更新しました。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類へ移行されたことに伴い、外食産業を取り巻く環境は回復が進み、当社グループにおいても需要回復に加え収益改善等の取組みが成果を上げ、売上高・各利益ともに過去最高数値を更新しました。

売上高は705億5百万円(前期比8.8%増)、営業利益は10億84百万円(前期比42.3%増)、経常利益は11億45百万円(前期比39.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は7億60百万円(前期比79.3%増)となりました。

セグメント別 売上構成比



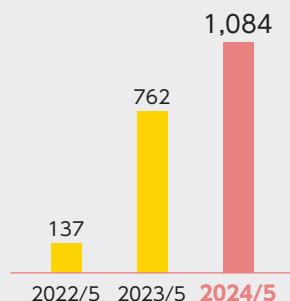
(注) 1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。
2.セグメント別の売上構成比は、セグメント間の内部売上高等を除いた数値を使用して算出しております。

連結財務ハイライト

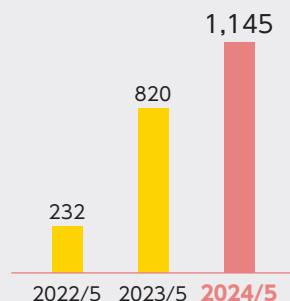
売上高 (百万円)



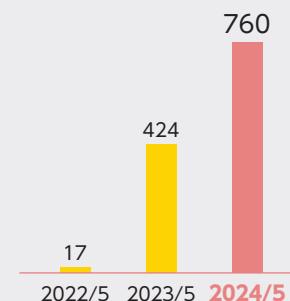
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する
当期純利益 (百万円)



Q 各事業の状況についてご説明ください。

A 収益性の向上を図り、各事業の取組みを進めています。

外商事業

外食需要の回復に伴い既存得意先売上が伸長したことや、大手外食チェーンから給食・中食・病院等の幅広い業態に対する新規開拓に注力し、売上高は456億12百万円(前期比13.7%増)となりました。

利益面については、食品価格の値上げに対応し、販売価格への転嫁やPB商品への切替提案等を進め、粗利率の向上を図るとともに、人件費や物流費等の経費抑制に取り組み、営業利益は5億93百万円(前期比258.4%増)と大きく改善しました。

2024年3月には、羽島物流センターを本店に統合、大阪営業所を大阪支店に格上げするなど外商事業の組織変更を行いました。新たな9拠点による体制を通じ、顧客ニーズに応じた商品・サービスの提供を進めていくとともに、様々な業態に対する新規開拓、物流の効率化、食品廃棄ロスの削減など各種施策に取り組み、収益性の向上をめざします。

アミカ事業

外食事業者向けの販売が前期比10.9%増と大きく伸長したことや、一般消費者向けの販売が前期比2.4%増、ネットショップが前期比8.1%増と好調に推移していることから、売上高は231億42百万円(前期比7.1%増)となりました。

利益面については、増収に伴う売上総利益の増加に加え、販管費率が低下したことから、営業利益は18億70百万円(前期比13.3%増)となりました。

新規出店については、2023年6月にアミカ富士店(静岡県富士市)、同年10月には冷凍スイーツに特化した新業態店舗であるReica岐阜田神店(岐阜県岐阜市)を開業しました。

2024年4月には、さらなる多店舗展開を実現していくための物流機能拡張を目的として物流センターを新たに開設しました。今後も計画的に新規出店を進めるとともに、既存店舗の活性化に取り組み、さらなる成長をめざします。

水産品事業

2023年8月、ALPS処理水の放出を受けて中国政府が日本産水産物の輸入を禁止した影響により、当事業においても中国向けの輸出販売を停止したことや商品相場下落の影響などから、売上高は19億25百万円(前期比41.0%減)、営業損失は3億16百万円(前期は営業利益1億5百万円)となりました。

輸出販売については、中国向けの輸出再開が不透明な状況のなか、中国以外の国への販売に取り組んでいます。来期以降、新たな販売ルートのもと従前と同水準程度の出荷を予定しており、当事業の収益改善をめざします。

Q ▶ 来期(第75期)の見通しについてご説明ください。

A ▶ 増収減益を計画しています。

外部環境については、前期と同様に外食需要の回復基調が継続することを想定しています。来期(第75期)の業績予想については、外商事業における新規開拓やアミカ事業における新規出店の効果などから売上高については増収を計画しているものの、利益面については、エネルギー価格等の上昇による光熱費や物流費の増加、設備投資に伴う減価償却費等の経費増加を見込み、減益を計画しています。

なお、アミカ事業においては来期(第75期)中に2店舗の出店を計画しています。

Q ▶ 株主の皆様へメッセージをお願いします。

A ▶ 3期連続増配を予定しています。

当期(第74期)の期末配当金は、1株当たり**6.5円**といたしました。中間配当金とあわせると年間配当金は**12円**となります。

来期(第75期)の配当については、1株当たり中間配当金**6.5円**、期末配当金**6.5円**の合計**13円**と**3期連続増配**を予定しています。

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題のひとつと考え、今後の事業展開を勘案しつつ、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としています。今後も皆様のご期待にお応えできるよう、企業価値のさらなる向上に努めてまいります。株主の皆様には、一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第75期(2025年5月期)の連結業績予想

売上高	755億00百万円(前期比 7.1%増)
営業利益	10億00百万円(前期比 7.8%減)
経常利益	10億40百万円(前期比 9.2%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	6億60百万円(前期比 13.2%減)

1株当たり配当金(円)



セグメント概況



外商事業は、大手外食チェーン、ホテル、レストラン及び事業所・学校給食などの多様な外食産業のお客様へ、直接販売を中心とした卸売を行っております。

外商事業

売上高

456億12百万円（前期比**13.7%**増）

POINT

外部環境の改善に加え、既存得意先との取引深耕や、給食、病院、中食など幅広い業態への新規開拓に注力し、前期比13.7%増となりました。



アミカ事業は、小規模外食事業者などプロのお客様や一般のお客様に対して、現金で販売し商品をお客様自身に持ち帰っていただくキャッシュアンドキャリー形式による直営店舗を展開しております。

アミカ事業

売上高

231億42百万円（前期比**7.1%**増）

POINT

外部環境の改善に伴い外食事業者向けの販売が回復したことや、一般消費者向けの販売も順調に推移したことから、前期比7.1%増となりました。



水産品事業は、イタヤ貝、帆立貝などの貝類を中心とした水産品を輸入し、食品メーカー及び食品卸売会社などへの卸売を行っております。また、国産水産品の輸出も行っております。

水産品事業

売上高

19億25百万円（前期比**41.0%**減）

POINT

ALPS処理水の放出を受けて中国政府が日本産水産物の輸入を禁止した影響により、当事業においても中国向けの輸出品販売を停止したことから、前期比41.0%減となりました。





新本社兼アマカ物流センター稼働のお知らせ

2024年4月、本社を移転しました。フリーアドレスを導入し、部門間の枠を超えた交流・連携により、企業価値のさらなる向上をめざします。



所在地

岐阜県大垣市古宮町
227番地1



打ち合わせコーナー



応接室



テストキッチン



太陽光発電



アマカの多店舗展開へ対応した物流機能の拡張

業務用食品スーパー「アマカ」の多店舗展開に対応するため、物流機能を拡張することを目的として、新たに物流センターを稼働しました。既存の輪之内物流センターと合わせて、およそ70店舗まで物流が可能となります。今後も計画的に「アマカ」の出店を進め、アマカ事業のさらなる成長をめざします。

「おうちごはん」ならアミカにおまかせ! 簡単レシピを大公開!!



使った食材は
コチラ!



味噌汁や
酒蒸しにも!!

ジェフダ

ボイル殻付あさり 41/50
500g

鮮度の良いあさを砂抜きし、袋詰め後にボイルしているため、あさりのうま味がそのまま活かしています。

あさりとキャベツの 汁だくパスタ

材料(2人分)

ボイル殻付あさり 41/50...200g

水.....大さじ3
キャベツ.....100g
ミニトマト.....6個
オリーブオイル.....大さじ2
マカロニ.....200g
塩.....適量

作り方

- 1 キャベツは食べやすい大きさにちぎり、芯は包丁で薄くスライスする。
- 2 フライパンにオリーブオイルを熱し、凍ったあさりを入れて水を加える。ふたをして殻が開くまで中火で3分ほど加熱する。
- 3 大きめの鍋に湯を沸かし、湯に対して1%の塩を加えてマカロニを茹でる。茹で上がり1分前にキャベツも加えて茹でる。
- 4 ③の茹で汁からお玉2杯分を②に加え、湯を切ったマカロニとキャベツ、ミニトマトも加えて1分ほど炒める。
- 5 塩を加えて味を調える。



あさはり冷凍のまま加熱し、うま味を活かします。



キャベツはマカロニと一緒に下茹ですれば楽チン♪

アメリカは世界中のグルメ食材を豊富に取り揃えた業務用食品の専門店です。“飲食店を営むプロのお客様に満足いただける商品力”がアメリカの魅力です。今回は、一般のご家庭の「おうちごはん」に活躍すること間違いなしのアメリカのオススメ商品を使ったレシピをご紹介します。



使い勝手の
良い食べ切り
サイズ!



使った食材は
コチラ!

ジェフダ

茹でずに使える緑豆春雨
15g×10

下茹で不要、熱湯を注いでたった2分でできあがり。ツルツルとなめらかでコシのある食感です。

バンサンスー

材料(2~3人分)

茹でずに使える緑豆春雨…45g(3個分)

きゅうり……1本	【調味料】
にんじん……1/2本	酢………大さじ1と1/2
塩………ひとつまみ	砂糖………大さじ1と1/2
ハム………5枚	しょうゆ…大さじ1
卵………1個	ごま油……大さじ1
白ごま……お好みで	

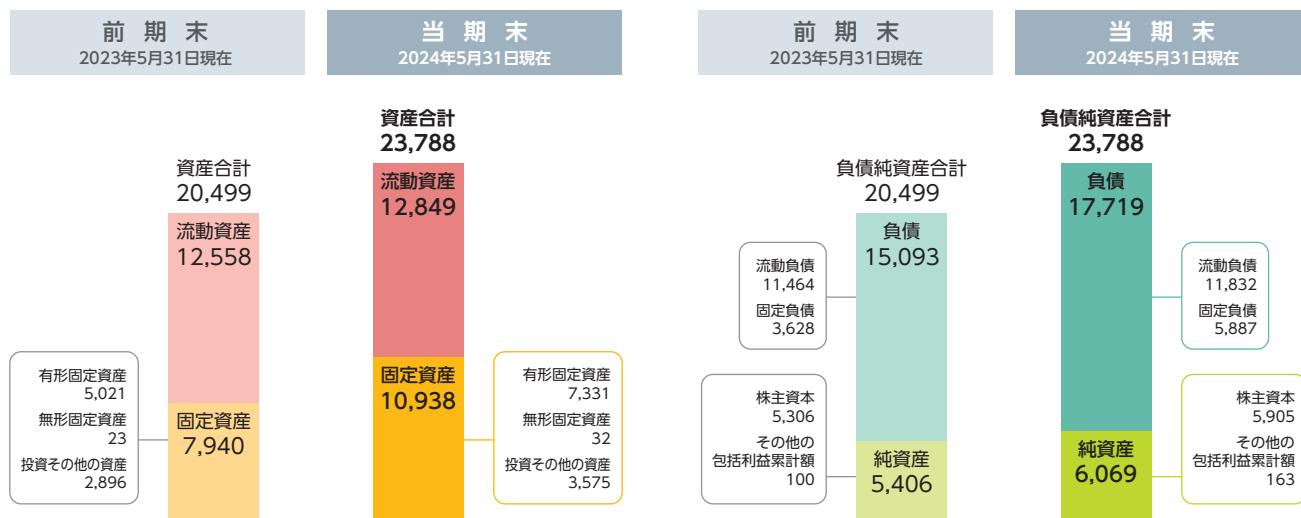
作り方

- 春雨は耐熱ボウルに入れて熱湯を注ぎ、2分ほど置く。やわらかくなったらザルにあげ、粗熱を取って食べやすく切る。
- きゅうりとにんじんは千切りにし、塩を混ぜて5分ほど置き、水気を絞る。
- ボウルに卵を割りほぐし、大きめの耐熱皿にラップを敷いて卵液を流し入れ、電子レンジ(600W)で1分加熱する。(生の部分があれば追加で加熱する)
- ③の粗熱が取れたら、半分に切ってから千切りにする。ハムも同様に千切りにする。
- ボウルに春雨、野菜、錦糸卵、ハムを入れ、混ぜ合わせた【調味料】を加えて和える。
- 冷蔵庫で30分以上冷やして器に盛り、お好みで白ごまをふる。

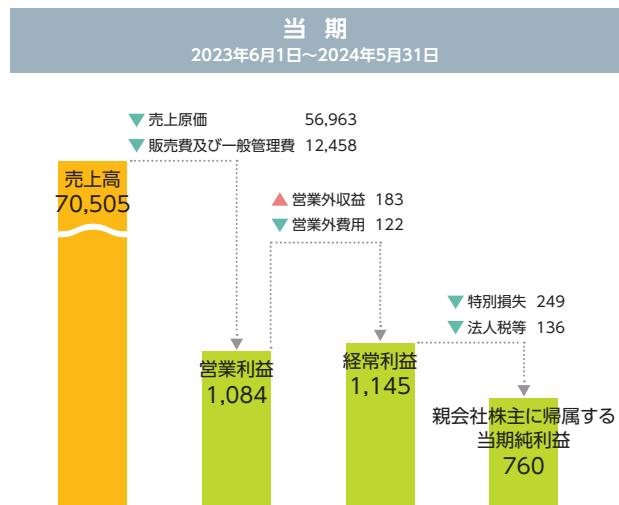


春雨は茹でずに、
熱湯につけて置くだけで
下準備OK!

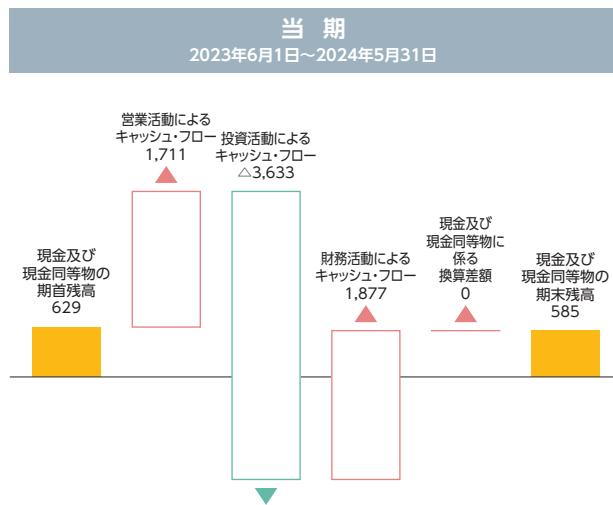
連結貸借対照表の概要 (百万円)



連結損益計算書の概要 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



会社情報 / 株式情報

会社概要 2024年5月31日現在

商号	株式会社大光
本社所在地	岐阜県大垣市古宮町227番地1
創業	1948年6月
設立	1950年12月
資本金	14億8,206万円
事業内容	食品卸売業及び食品小売業
連結従業員数	1,045名(内パート・アルバイト496名)
子会社	株式会社マリンドリカ

取締役 2024年8月21日現在

※は、監査等委員

代表取締役 社長執行役員	金森 武	取締役 執行役員	小林 秀幸
取締役 専務執行役員	倭 雅美	取締役 執行役員	江良 寿泰
取締役 専務執行役員	金森 久	社外取締役	宮崎 信行*
取締役 専務執行役員	秋山 大介	社外取締役	吉村 有人*
		社外取締役	前川 弘美*

株式の状況 2024年5月31日現在

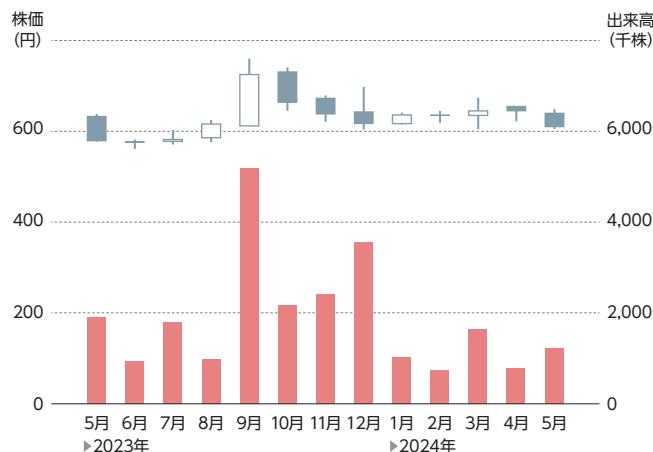
発行可能株式総数	30,720,000株
発行済株式の総数	14,883,300株(自己株式を含む)
株主数	27,460名

大株主

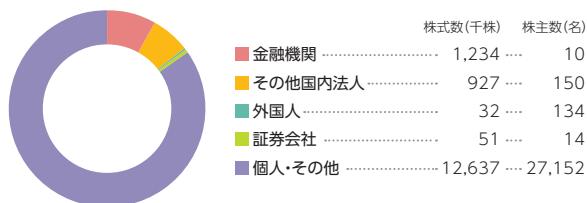
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
金森 武	2,004,500	13.65
金森 久	1,168,000	7.95
大光従業員持株会	857,400	5.83
金森 智	720,000	4.90
株式会社大垣共立銀行	640,000	4.35
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	315,700	2.15
倭 雅美	257,000	1.75
株式会社トーカン	240,000	1.63
大光取引先持株会	209,600	1.42
株式会社十六銀行	160,000	1.08

(注) 1. 当社は、自己株式200,012株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

株価チャート

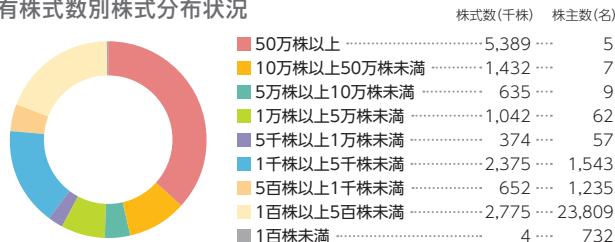


所有者別株式分布状況



(注) 自己株式は、個人・その他に含めております。

所有株式数別株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで

定時株主総会 毎年8月

基準日
定時株主総会の基準日 毎年5月31日
期末配当金の基準日 毎年5月31日
中間配当金の基準日 毎年11月30日

株主名簿管理人
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先
(電話照会先)
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話番号0120-782-031(フリーダイヤル)

【住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について】

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

【未払配当金のお支払いについて】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや店舗情報など、当社をご理解いただくための様々な情報を提供しております。



TOPページ



IR情報ページ

<https://www.oomitsu.com>

株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に保有していただける株主様の増加を図ること、ならびに株主優待制度を通じた当社事業への理解促進を図ることを目的として株主優待制度を設けております。



当社から株主様へQUOカードをお送りします。当社からお送りするQUOカードを未使用の状態でご持参いただきました株主様には、QUOカードを倍額の「アミカ商品券」に交換させていただきます。

1 対象株主様 毎年5月末日現在及び11月末日現在の当社株主名簿に記録された1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします(それぞれ8月下旬、翌年2月中に発送予定)。

2 優待の内容

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	▶ QUOカード500円分 又はアミカ商品券1,000円分
500株以上1,000株未満	▶ QUOカード1,000円分 又はアミカ商品券2,000円分
1,000株以上2,000株未満	▶ QUOカード2,000円分 又はアミカ商品券4,000円分
2,000株以上	▶ QUOカード3,000円分 又はアミカ商品券6,000円分